ネットワーク

最初の Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスネットワーク設定は、『*Cisco Threat Grid Appliance Getting Started Guide*』に記載されているように、管理 UI を使用してアプライアンスのセットアップ時に完了します。この章では、Admin TUI を使用して最初のネットワーク構成を変更する方法についての追加情報を提供します。

ネットワーク構成の変更

初期ネットワーク構成は、Admin TUI を使用して完了します。ネットワークの初期設定を変更する場合は、次の手順を実行します。

（注） DHCP を使用して IP を取得する場合は、「ネットワーク」を参照してください。

手順

ステップ 1 [Admin TUI] にログインします。

（注）
LDAP のみ（LDAP only） 認証に対して構成する場合、LDAP を使用して、Admin TUI にのみログインします。認証モードが **[LDAP またはシステム パスワード（LDAP or System Password）]** に設定されている場合、Admin TUI のログインで許可されるのは**システム** ログインのみです。

ステップ 2 管理 TUI インターフェイスで、 **[CONFIG_NETWORK]**を選択します。

[**Network Configuration**] コンソールが開き、現在のネットワーク設定が表示されます。

ステップ 3 必要な変更を行います（新しいエントリを入力する前に、バックスペースを押して古いエントリを削除する必要があります）。

ステップ 4 ダーティ ネットワークの [DNS Name] を空白のままにします。

ステップ 5 ネットワーク設定の更新が完了したら、Tab キーで下に移動し、**[検証（Validate）]** を選択してエントリを確認します。

エラーが発生する場合、無効な値を修正し、**[検証（Validate）]**をもう一度選択します。

検証が完了すると、[**Network Configuration**] ページに入力した値が表示されます。

ステップ 6 **[適用（Apply）]** を選択して構成設定を適用します。

行われた設定変更に関する詳細情報が表示されます。

ステップ 7 **[OK]** を選択します。

[**Network Configuration**] コンソールが再更新され、IP アドレスが表示されます。これで、ネットワークの設定は完了しました。

Admin TUI への再接続

Admin TUI はコンソール上で開いたままになり、アプライアンスにモニターを接続するか、（CIMC が設定されている場合は）リモート KVM を使用することでアクセスできます。

Admin TUI に再接続するには、ユーザー「**threatgrid**」として管理 IP アドレスに SSH 接続します。必要なパスワードは、Admin TUI ダイアログに最初に表示される、ランダムに生成された初期設定パスワード、または Admin UI 構成の最初の手順で作成した新しい管理者パスワードのどちらかです。詳細については、 コンフィギュレーション ガイドの最新の『Cisco Secure Malware Analytics アプライアンス スタート ガイド』を参照してください。

リカバリ モードでのネットワークの構成

リカバリモードでのネットワークの設定は、システム全体に反映されます（バージョン2.7 以降）。

- すべてのインターフェイスが起動します。
- ファイアウォールルールとポリシールーティングにより、どのプロセスがどのインターフェイスで通信するかが制限されます。

（注） ポート 19791 のサポートモードトラフィックは、3 つのインターフェイスすべての許可リストに含まれています。

リカバリモードでネットワーキングを設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスを再起動し（**[操作（Operations）] > [電源（Power）] > [再起動（Reboot）]**）、ブート メニューで **[リカバリモード（Recovery Mode）]** を選択します。

ステップ 2 システムが起動したら、**Enter** キーを数回押して clean コマンド プロンプトを表示させます。

ステップ 3 「**netctl clean**」と入力し、次の情報を入力します。

- **構成タイプ (dhcp|static)[Current: DHCP]**: static
- **IPアドレス(ipaddr)** : <Clean IP Address>
- **ネットマスク（ipaddr）** : <Netmask>
- [**Gateway Address**] : <クリーン ネットワーク ゲートウェイ>
- **[このインターフェイスのアドレスの DNS 名**（DNS name of this interface's address）] : このインターフェイスのアドレスの DNS 名を入力します。
- **[LAN アドレス用のプライマリ DNS サーバー**（Primary DNS server for LAN addresses）] : プライマリ DNS サーバー アドレスを入力します。
- **[LAN アドレス用のセカンダリ DNS サーバー（Secondary DNS server for LAN addresses）]** : セカンダリ DNS サーバー アドレスを入力します。
- **このプロファイルを保存しますか？(Yes|No)** : **はい（Yes）**と入力します

ステップ 4 構成を適用するために、**netconfig-apply** を入力します。

アプライアンスは、ポート 19791/tcp のクリーンインターフェイスでアウトバウンドサポート接続を開こうとします。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。